

田川地区 合同公売会

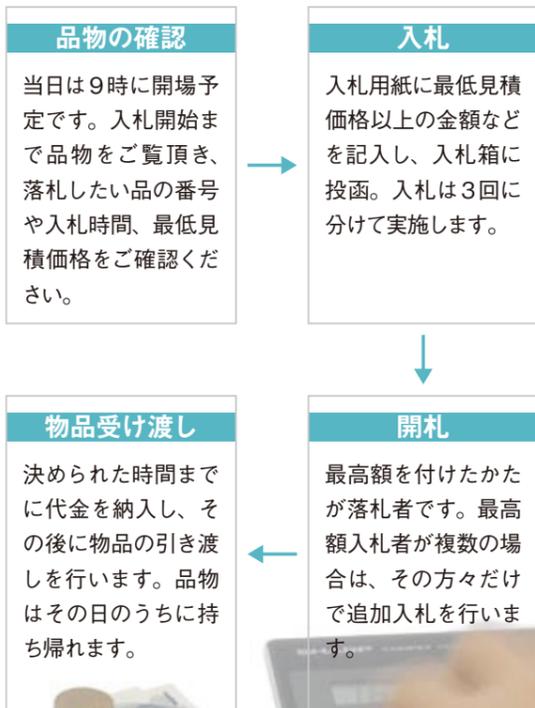
税滞納で
差押えた品
を販売!!

田川県税事務所および田川地区の市町村では、税金の滞納を解消するために、滞納者から差押えられた財産を合同で公売しています。昨年の筑豊地区合同公売会には貴金属やブランドバック、新米など約220点が出品されました。今回の公売会では上野焼やデジタル液晶テレビ、ゲーム機など多数の出品が見込まれますので、ぜひご来場ください。



← 品物は入札制で購入します。昨年は約300人が詰めかけました。

公売会の流れ



- 日時 11月17日(日) 9時開場 10時入札開始
- 場所 田川市民会館 ☎ 44-5110 (総合体育館横)
- 購入方法 期日入札
※ 定められた公売の日時・場所で、入札書に記入・提出する方法
- 入札に必要なもの 代金、身分証明書、印鑑
※ 代理で参加される場合は委任状が必要です
- 問 福智町役場 税務課 収納対策係 ☎ 22-7762

延滞金・督促手数料について

町税は、定められた期限までに納税者が自主的に納めるものです。町では、この納税本来の姿である、自主納税を推進しています。納期限内納付にご協力ください。

① 滞納すると高率の延滞金

滞納すると、期限をきちんと守って納税している人との公平性を保つため、本税とは別に、納付期限の翌日から納付の日までの日数に応じて高率の延滞金がかかります。

② 督促状が届いたら手数料

納付期限を過ぎても納付しない場合は、督促状が送付されます。延滞金も督促手数料も期限までに完納すれば、払わなくて済むものです。期限を守って納税しましょう。

③ 滞納が続くと財産を差押え

滞納が続くと、町は、大切な町税を確保するためやむをえず、法律の規定に基づき、滞納者の財産を差押えることとなります。

④ 納期内納付にご協力を

滞納は、滞納者にとっては、延滞金や督促手数料、滞納処分といった不利益の元ですが、町でも、その整理に多くの費用がかかる負担です。この費用は、貴重な町税などの収入で賄われております。納期内納付にご協力ください。

福智の風

▶ ずいぶん秋も深まってきました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…、秋にも色々ありますが、「フクチ・ファインド・フェスティバル」が開催された今月の福智は、まさに「食欲の秋」だったのではないかなと思うほど、おいしそうに食べる人たちの笑顔に出会えました。そのイベントの詳細は来月号に掲載させていただきますので、お楽しみに!(久原)

▶ 子どもの頃、神幸祭の時期が来ると、「楽しみ」で眠れなかった記憶があります。そんな私が今回、神幸祭と競演会の記事を担当。出身なだけに、この祭りの良さをより多くの人に伝えようと、必死で作りました。大人になった今回は、生みの「苦しみ」で眠れない毎日。純粋に祭りを楽しむだけでよかった、あの頃に戻りたい…。(相原)

写真が語る
なれの写真館

稲荷神社奉納獅子楽
提供者●不明
撮影日●不明

約400年以上続く稲荷神社神幸祭で奉納される獅子楽。獅子頭は雌雄の別があり、赤は雄で、青が雌。よく観察すると目や鼻、口に雌雄の特色が現れていることが分かります。

昔の写真を探しています!
問 総務課広報・広聴係 ☎ 22-0555

四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

赤池隣保館句会
池田一歩選

風となり心芒野かけ巡る
秋風に背なを押されて弾む試歩
米蔵の施錠する音秋深し
晴れやかな真澄の空の体育祭
露を置く句碑去り難き思ひあり
古城址の苔の石階露しとど
揺れてゐる影も軽やか秋桜
赤い羽根つけらるゝ間の息を詰め
手を振れば手をふる園児野菊晴

千手 弘子
大久保幸子
安田 健一
小笠原雄子
小場 妙子
丸山 鈴子
熊谷カツミ
吉田 弘
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室
岩井鬼童選

白粉花や朽ちても美顔観世音
霧湿る神鼓の御豊前坊
爽やかな子らの靴音新学期
炭坑の栄枯を覆ひ葛の花
死支度せよと急がす法師蟬
一人居や月を相手に愚痴こぼす
虫たちの音楽会の夜もすがら
孫すでに男の背ナヤカンナ燃ゆ
街川に雲の舞めく残暑かな
秋の蝶吹かれ鉄道起点の碑

建部三由紀
長副美恵子
西田 真美
松岡 蔦枝
仲谷ひろえ
山本 空木
今井三千代
小野 美幸
加藤きみ子
日比生利子

方城句会
池田一歩選

こほろぎの燃え立つ葉を飛び出せり
霧の上の天空の城朝まだき
秋の雲千変万化して遊ぶ
冬支度生前整理かねながら
椽の実際の屋根打つ音の夜のしじま
師の教え乞いつつ巡る秋の園
吹き返す風に纏れて秋桜
名を聞くや白杜鵲草との出会ひ
秋風に誘はれ黄泉に旅立たれ

長末 耕一
藤井耿之介
渡邊 一枝
尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冨子

ともしび短歌会短歌詠草

虫の音もさだかに聞こえぬわれにして夜の冷気に秋を悟れり
庭先の醉芙蓉の花風に揺れ雲の形も秋となりけり
嘉麻の里の憶良まつりの短歌会秋の七草園児の唱ふ
扇風機頭をたれてる如し窓より吹き込む秋風の中に
柿の実の色づかぬままポタポタと落ちてしまへり猛暑の庭に
神々は出雲の国に集へるや神無月の夜の虫の音たかし
背を伸ばし軽やかに舞ひし若き日に戻りてみたしつばやひてみる
満月の中天にかかり道場の屋根光りたり弓射を終る

桑野 昭子
越智 早苗
福田キヨ子
村上 美幸
前田 信子
八代 範夫
白石 信子
福田 昌